



令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 矢吹厚生事業所

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

令和2年度 事業報告

○生活保護授産事業

生活保護授産事業では、何らかの理由や課題から就労が困難な利用者に対して、利用者の働く意欲の向上や資質向上に繋がるよう「就労準備期のための支援」「中間的就労の場」として、その役割を担えるよう支援を行ってきた。このコロナ禍で生活保護受給者が増加したことで利用者増に繋がることも期待したが、行政との関わりや支援の方向性がうまくマッチングせず、生活保護授産施設で担える役割を広く理解、浸透させることができ難しかった。また、加齢や病気により退所をする利用者も多い年となった。貧困やひきこもり、DV、一人親家庭、難病、アルコール依存症といった何らかの課題を抱えている困窮者に対して、また、現行制度の狭間で行き場のない利用者の居場所としても、その役割やメリットを今後も行政と調整を図りながら機能できるよう努めていきたい。

機能強化促進事業の取り組みとしては、以前から行っている利用者のビジネスマナー研修を今年度も開催し、基本的マナーについて学んだ。

○障害福祉サービス事業(就労継続支援B型事業・生活訓練事業)

今年度も尚、新型コロナウイルス感染症により、利用者や職員の生活に少なくとも影響を及ぼした。感染拡大の終息が見えない状況に、ウィズコロナ時代の「新たな生活様式」への対応も求められた。

社会情勢や景気の悪化により、いつの時代も煽りを受けるのは障がい者の就労機会である。しかし、時代は巡り巡って少子高齢化や生産人口の減少により誰もが活躍できる「一億総活躍社会」のビジョンに向け変わり始めたことで、障害があってもなくてもノーマルな世の中の実現や共生社会、SDGsの波に乗り、ここ数年間で障がい者を取り巻く環境も好転してきたと感じている。利用者が増えればそれと比例し利用者の作業確保も課題となってくる。しかし、これまで薄いてきた種はこのコロナ禍においてきちんと芽を出してくれた。出会いや繋がり、機会など、多くの人に支えられ新しい仕事の確保にも繋がった。多様化する時代の流れと連動したインクルージョンな社会の実現に向け、コロナ禍だからこそ、本来社会福祉施設が目指すべき「あるべき姿」に立ち返り、その意義や役割を具現化することができた。アイソレーションガウンの製造もその一つであり、民間企業とのご縁から、県内にある縫製会社と協力しながら厚労省のアイソレーションガウン(医療用予防衣)製造に携わらせていただけた。約5か月間で1万1千枚のガウンを製造。新型コロナウイルスの感染拡大が広がる中「自分たちも支える側にもなれる。」

という思いで、アイソレーションガウンやフェイスシールド、マスクなど新たな作業にも直向きに対応することができた。ハンデを盾にせず、一般市場と同じ水準で活き活きと作業が行えたことは、利用者一人ひとりの自尊心や自己肯定感の向上にも繋がった。

また、施設外就労でも、コロナ禍の影響で一時時間の短縮となつたが、企業も人材不足が深刻化するなか、利用者の直向きて地道な頑張りが評価され「来てもらわなくては困る」と、企業から必要とされる存在として通うことができた。昨年10月から県最低賃金の改定により時給もアップした。

逆境をチャンスに変えられたことで利用者一人ひとりの成果が大幅な収入増となり工賃向上に繋がった。昨年の平均工賃が2万2千円だったのに対し、今期は3万5千円という結果となった。

以前から計画を進めてきた令和2年度社会福祉施設等施設整備事業は、完成まで糸余曲折しながら進めてきたが、そこに携わっていただいた行政機関、役職員または工事関係者の尽力とご協力のおかげで、令和3年3月23日、無事「わーくる矢吹新棟」の竣工を迎えることができた。

○相談支援事業(特定相談支援事業・一般相談支援事業)

相談支援センターやぶきでは、障がい福祉サービスを総合的に利用できるよう、基本姿勢に基づき初回面談やアセスメント、計画相談やモニタリング等を行つた。本来は利用される方との信頼関係により成り立つ業務であるため、足を運び顔が見える支援を心掛け遂行すべきところ、コロナ禍により電話等による面談機会も多くなり、コーディネート役としては寄り添った支援の提供ができにくく年となった。

また、受け持ち相談件数179件と件数は多い中、その煩雑な業務とは相反して収入は低迷、他事業から繰入せざるを得ない状況は変わらずであった。しかし、地域で必要とされる相談支援事業所のひとつとして新規の受け入れを迅速に対応するなど柔軟性のある業務を行うことができた。一般相談支援事業では地域移行支援や地域定着支援を行い、利用者が住み慣れた地域で当たり前の暮らしができるよう、24時間緊急時サポートなどの対応を行つたが、利用人数減という結果となった。

中島村からの委託相談では、対象者の年金受給のサポート等を行つた。また、近隣市町村及び地域の関係機関との連携を図り、各種会議や研修への参加も行い資質向上に努めた。

○重点実施事項

① 人材育成

前年度に引き続き、職員の資質向上を図るため、外部講師を招き人財育成の研修会を行った。コーチングに力を入れ、人間性や人間力の向上に努めた。またオンラインによる研修会等の参加、勉強会に時間をかけて職員全体の資質向上を図った。

② チームワーク

職員としての横の繋がりを強化するため、引き続き今年度も、就労継続支援 B 型事業において、生産活動における部署(縫製班・加工班・施設外就労班・弁当班)ごとに職員1名をリーダーとして配置し、管理や責任を権限委譲し、リーダーシップを發揮していけるような仕組みを整えた。リーダー会議を月一回設け、リーダー同士が意見交換や討議を交わしながら、必要とあれば上司が相談や助言を行い、切磋琢磨しながら資質向上に努めた。

③ リスクマネジメント

コロナ禍における事業継続計画(BCP)の作成や、事業の継続や復旧を図るための計画、手順書等(マニュアル)の作成、整備を行った。(現在も整備中)

また、事故発生時の対応や安全確保についても迅速かつ誠実な行動が取れるよう、万が一に備えて、防災・防犯管理委員会が企画等を行い、臨場感のある避難訓練を毎月実施することができた。

6S活動の推進や働く環境の見直し等も行いながら、そこで働く「人」がやりがいや生きがいに繋がるよう、必要なものは取り揃え、要らないものは整理整頓や断捨離等を行い、クリーンな環境で一人ひとりが気持ちよく働ける環境の整備を行い、リスク回避に備えた。

④ 委員会活動

職員が各委員会に分かれて一年間に渡り、施設運営に役立つ活動を行えた。また、施設運営に参加する機会により、主体性を持ち改善活動を行いながら組織の活性化に繋げることができた。0

I.施設の状況

1.事業内容

2. 事業名及び定員

① 生活保護授産事業(利用定員:20名)

生活保護法の該当者、又は、これに準ずる要保護者、
身体障害者手帳及び療育手帳の交付を受けた方で通所できる方。

② 就労継続支援B型事業(利用定員:40名)

一般企業等への雇用に結びつかなかった者や一定年齢(50歳)に
達している者などで、福祉的就労、生産活動等を通じ知識及び能力の
向上や維持が期待される者。

③ 自立訓練(生活訓練)(利用定員6名)

食事や家事等の日常生活能力を向上するための支援を行う。

日常生活上の相談支援または就労に結びつく支援を行う。

④-1指定特定相談支援事業(計画相談)

障がい(身体・知的・精神)の手帳交付者が障がい福祉サービス利用の申請若しくは変更の申請
に係る支援を提供し、本人の生活及び活動を総合的に援助する。

④-2指定一般相談支援事業(地域移行・地域定着支援)

・障がい入所施設又は精神科病院に入院している者が、住宅の確保その他の地域における
生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援を行う。(地域移行支援)

・単身において単身等で生活する障害者につき、常時の連絡体制を確保し、障害の特性に
起因して生じた緊急の事態等に相談その他必要な支援を行う。(地域定着支援)

3.利用対象者

- ・身体障がい者(肢体不自由・視覚・聴覚・言語・内部障がい)
- ・知的障がい者
- ・精神障がい者

4.令和2年度理事会提出議案

月	日	議案NO.	議 案
6	6	第1号	令和元年度事業報告について
		第2号	令和元年度計算書類及び財産目録の承認について
		第3号	令和2年度社会福祉施設等施設整備事業計画について
		第4号	独立行政法人福祉医療機構借入金について
		第5号	職員給与規程の一部改訂について
		第6号	定時評議員会の招集日程について
		報告事項	主要行事報告
			寄贈品報告
			苦情解決第三者委員会開催
			お弁当の注文数について
			令和元年度相談支援事業(相談件数)
			固定資産(ミシン)の購入予定について
			令和2年度社会福祉施設等施設整備事業計画の採択について
9	29	第1号	入札スケジュール(仮)について
		第2号	入札方法、公告事項内容について
		第3号	経理規程の一部改訂について
		第4号	監事の選任について

		第5号	事業用賃貸借契約書締結(旧大井樓店舗)について
		第6号	第2回評議員会の招集日程について
		報告事項	令和2年度福島県社会福祉施設等施設整備事業計画について
10	13	第1号	条件付一般競争入札参加資格審査について
11	2	第1号	条件付一般競争入札参加業者の選定について
11	6	第1号	社会福祉法人矢吹厚生事業所わーくる矢吹新築工事請負契約書締結について
		第2号	建築設計・監理業務委託契約書締結について
11	30	第1号	令和2年度上半期事業並びに収支仮決算について
		第2号	令和2年度収支予算の補正について
		第3号	最高借入限度額の変更について
		第4号	独立行政法人福祉医療機構借入申込金額の変更について
		第5号	固定資産の取得について
		第6号	評議員選任・解任委員の選任について
		第7号	理事の退任・選任について
		第8号	会計事務所顧問委託契約について
		第9号	第3回評議員会の招集日程について
		報告事項	業務受託先
			利用者数
			お弁当和来(わーくる)取引先
			お弁当和来(わーくる)注文数について
			お弁当和来(わーくる)月極契約先
			臨時職員(生活支援員)採用について
			臨時職員退職について
			施設修繕工事について
			固定資産の取得について
			マスク及び消毒液の寄付について
			主要行事報告
12	24	第1号	土地購入について
		第2号	会計事務所契約書締結について
		第3号	令和2年度収支予算の補正について
		第4号	定款の変更(案)について
		第5号	第4回評議員会の招集日程について
3	23	第1号	令和2年度収支予算の設定について
		第2号	令和3年度事業計画及び収支予算の設定について
		第3号	令和3年度借入金最高限度額の設定について
		第4号	職員給与規程の一部改訂について
		第5号	固定資産廃棄処分について
		第6号	敷地造成について
		第7号	令和2年度第6回評議員会の招集日程について
		報告事項	業務受託先
			利用者数
			お弁当和来(わーくる)取引先
			お弁当和来(わーくる)注文数について
			お弁当和来(わーくる)月極契約先
			相談支援事業実績について
			パート職員採用について
			臨時職員採用について
			マスク及び消毒液の寄付及び優先供給について

		その他の寄付について
		寄付金について
		2020年度社会福祉助成金について
		2020年度社会福祉法人助成金事業について
		新型コロナウィルス感染症緊急包括交付金(障害分)について
		固定資産の購入について
		マネジメントリスクプロダクション保険更新について
		総合事業者保険契約について

5.サービス提供職員の配置状況

職種	事業所名 職員数	生保授産事業	就労継続支援 B型事業	自立訓練(生活 訓練)事業	相談支援事業
		職員	職員	職員	職員
施設長	1			1	
サービス管理責任者	1	-	1(施設長兼務)	1(施設長兼務)	-
職業指導員	8	2	6	-	-
生活支援員	2	-	1	1	-
目標工賃達成指導員	1	-	1	-	-
事務員	1		1		-
相談支援専門員	1	-	-	-	1

6.就労活動種目

項目	品目・製品	摘要	売上(円)
縫製作業 (生保授産・就労継続支援 B型)	白衣、エプロン、スマック他	チトセ(株)、(株)サロンジエ、(合)ナチュラルワークス、丘の上幼稚園、(株)富樫縫製、タカギ繊維(株)、(有)高原衣料	12,927,708
自主製品 (生保授産、就労継続支援 B型)	スマック、給食衣、エプロン、ハンカチ、巾着、マスク、他	矢吹町内教育委員会、保育園、幼稚園、各種団体、施設内販売他	3,403,175
加工作業 (就労継続支援B型)	住宅部品の袋詰め、車関係部品の組み立て、エレベーター部品のゴム切り作業他	(株)ジューキ、(株)ゴルフテック、(株)東北トップ、(株)片山ゴム、(株)アイ・ディ・イー、VALTJAPAN(株)、(株)岩瀬書店	4,972,948

施設外就労 (就労継続支援B型)	段ボール組立	加藤段ボール	6,389,095
	工場内清掃	TFO	
	トマト分別作業	JA夢みなみ	
施設外支援(R2.11より施設外就労へ変更) (就労継続支援B型)	会田病院清掃作業	ヘルシーショップ	
お弁当作業 (就労継続B型)	お弁当、お総菜製造・販売	月極契約先:小針製作所、ヘルシーショップ、矢吹病院、全酪連、岩瀬農業高校、NPO太陽、富士屋産業、個人宅、施設内、大馬工務店、県南保健福祉事務所、光南高校、中島村総合福祉センター、大野農園、レツツ俱楽部、まちづくり	17,526,695
合計売上			45,219,621

7. 障がい者相談支援事業(平成26年4月～)

	受持ち人数	相談延べ件数	売上(円)
平成26年度	156人	733件	6,265,150
平成27年度	191人	862件	8,882,060
平成28年度	198人	665件	8,121,930
平成29年度	200人	766件	6,416,120
平成30年度	175人	845件	8,328,480
令和元年度	173人	750件	5,693,310
令和2年度	179人	740件	4,518,630
計		5,361件	48,225,680

8. 年間行事

予定年月	行事
4月	辞令交付式
6月	令和元年度決算監査
	苦情解決第三者委員会
	第1回理事会

	定時評議員会
	第2回理事会
8月	大掃除
	利用者、職員全体会議
9月	第2回理事会
10月	第2回評議員会
	第3回理事会(書面決議)
11月	第4回理事会(書面決議)
	第5回理事会
	入札
	地鎮祭
	令和2年度上半期監査
	第6回理事会
12月	第3回評議員会
	第7回理事会
	利用者、職員全体会議
	大掃除
	年末年始休み
1月	福島県社会福祉法人監査(書面)
	第4回評議員会
2月	町内園児スマック等販売促進
	第5回評議員会(書面決議)
3月	第8回理事会
	第6回評議員会
	令和2年度建築物補助事業に係る成果確認検査
毎月	誕生会 防災訓練 余暇活動

9.各種会議

- ・利用者、職員全体会議…休み中の連絡事項等
- ・お弁当会議…実績報告他
- ・利用者、職員全体会議…休み中の連絡事項等

II.利用者の状況

1.各事業の定員及び現員 令和3年3月31日現在 (単位:人)

事業名	定員	現員(利用者数)
生活保護授産施設	20	11

就労継続支援B型事業	40	47
自立訓練(生活訓練)	6	6
計	66	64

2.月別現員数(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
生保授産事業	初日の現員数	13	13	13	14	14	15	15	14	13	12	11
	入所数	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	退所数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	月末の現員数	13	13	14	14	15	15	14	13	12	11	11
就労継続支援B型事業	初日の現員数	48	48	47	47	48	50	50	50	49	49	48
	入所数	0	0	1	1	4	0	1	0	0	0	0
	退所数	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0	1
	月末の現員数	48	47	47	48	50	50	50	49	49	48	47
自立訓練(生活訓練)	初日の現員数	3	3	3	3	4	4	5	5	6	7	6
	入所数	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0
	退所数	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	月末の現員数	3	3	3	4	4	5	5	6	7	6	6
月末の現員数		64	63	64	66	69	70	69	68	68	67	65

※退所者について

- 就労継続支援B型事業の7名のうち、
2名就職、3名は生活訓練へ切替、2名自宅生活

3.障がい者手帳の内訳(主とした障がいを優先に表記)

R3.3.31現在

身体障害者手帳

(単位:人)

障害等級	1級	2級	3級	4級	5級	計
生保授産事業	0	0	0	0	0	0
就労継続支援B型事業	1	3	1	1	1	7
自立訓練(生活訓練)事業	0	1	0	0	0	1
計	1	4	1	1	1	8

療育手帳 A…重度 B…中度

(単位:人)

障害等級	A	B	計
生保授産事業	0	1	1
就労継続支援B型事業	2	22	24
自立訓練(生活訓練)事業	1	1	2
計	3	24	27

精神障害手帳

(単位:人)

障害等級	1級	2級	3級	計
生保授産事業	0	0	0	0
就労継続支援B型事業	1	7	3	11
自立訓練(生活訓練)事業	0	0	0	0
計	1	7	3	11

4.主な障がい別

(単位:人)

障害別	身体	知的	精神	その他	計
生保授産事業	0	1	0	0	1

就労継続支援B型事業	7	24	14	2	47
自立訓練(生活訓練)事業	1	3	2	0	6
計	8	28	16	2	54

5.性別・年齢 R3.3.31現在 (単位:人)

性別	区分	年代別								計
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	
生保授産事業	男	0	0	0	1	1	2	1	0	5
	女	0	0	1	0	3	1	0	1	6
	計	0	0	1	1	4	3	1	1	11
就労継続支援B型事業	男	0	5	0	4	7	5	0	0	21
	女	0	4	3	5	5	5	4	0	26
	計	0	9	3	9	12	10	4	0	47
自立訓練(生活訓練)	男	0	0	0	0	2	1	0	0	3
	女	0	3	0	0	0	0	0	0	3
	計	0	3	0	0	2	1	0	0	6
合計		0	12	4	10	18	14	5	1	64